

特別支援学校の センター的機能を 活用した取組

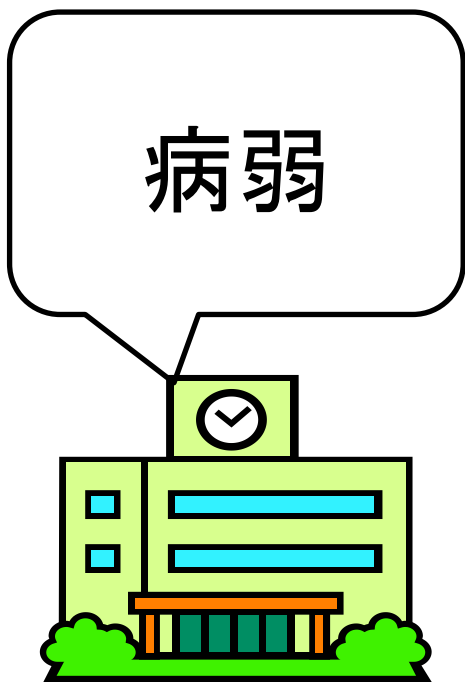
～個に応じたサポート体制づくり～

新潟県柏崎市立鏡が沖中学校
寺沢 むつみ

I . はじめに

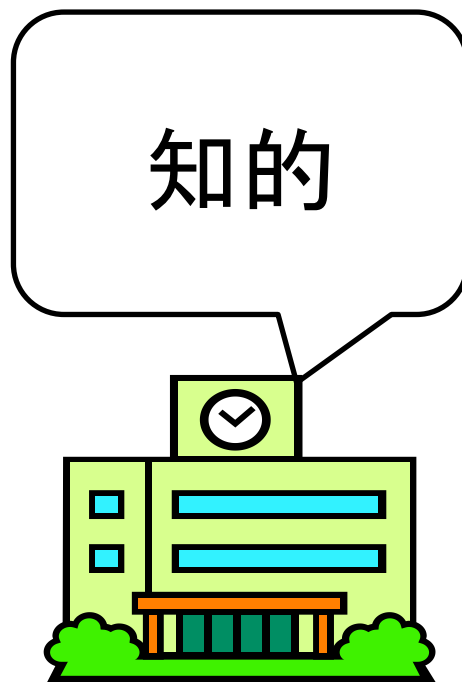


病弱



県立柏崎
特別支援学校

知的



県立はまなす
特別支援学校

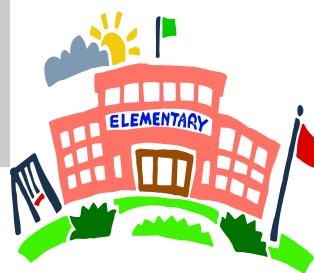
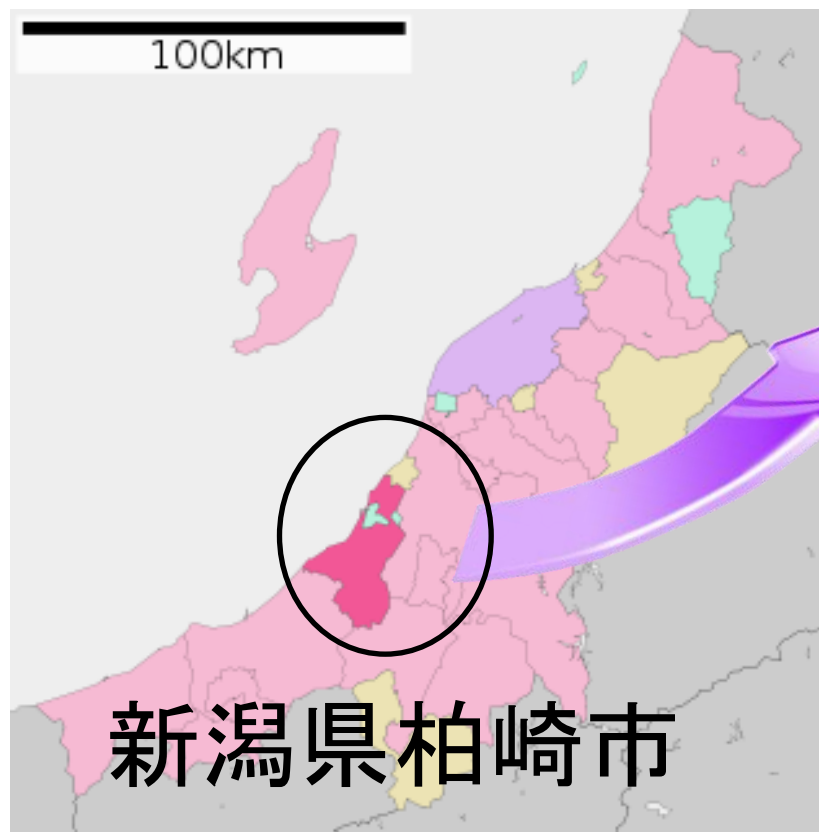


どこに相談するか検討

→ 個に応じたサポート体制づくり



鏡が沖中学校とは…

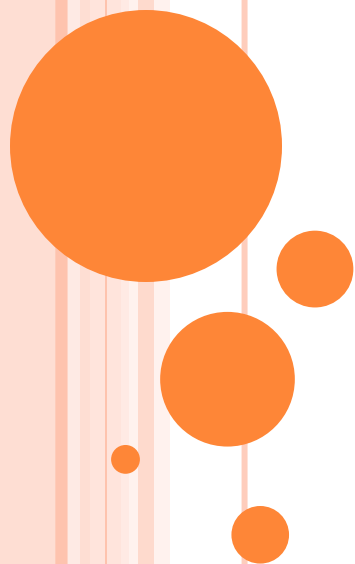


枇杷島小



半田小

Ⅱ. 事例





ガラス破損



車のいたずら

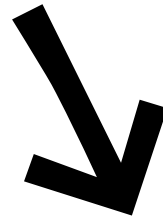


授業妨害
不登校

学校がおちつかない……

問題行動を起こしている生徒

けがの処置
体調不良



保健室にやってくる



実は…

- ・相手の気持ちがうまく受け取れない
- ・自分の気持ちをうまく伝えられない
- ・感情をコントロールできない



困り感

勉強がわからない
授業についていけない



不安な気持ち、疲れることがたくさん



先生方の話し方や対応の違い
学校生活の環境の違い

不安な気持ちが身体症状に

パニックを
起こすことも…

学校生活に不応感



発達障害特有の症状



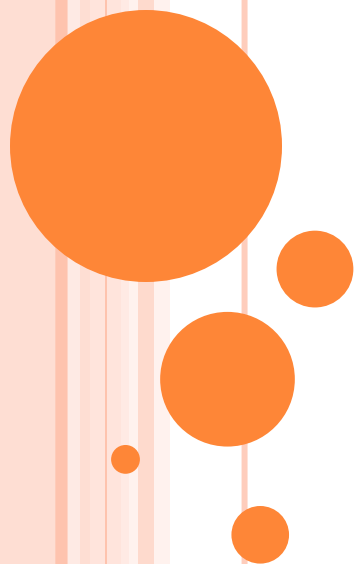
一人一人が抱えている
問題が違う



特別支援学校の
センター的機能を活用した
個に応じたサポート体制づくり



Ⅲ. 实践内容



①職員研修の開催

問題行動
の分析

発達障害
の理論
個別指導
のあり方

ユニバーサル
デザイン



②保護者サポート、教育相談

子どもの気持ちが
理解できない



親子関係がうまく築けない

学校との関係がうまくいかない

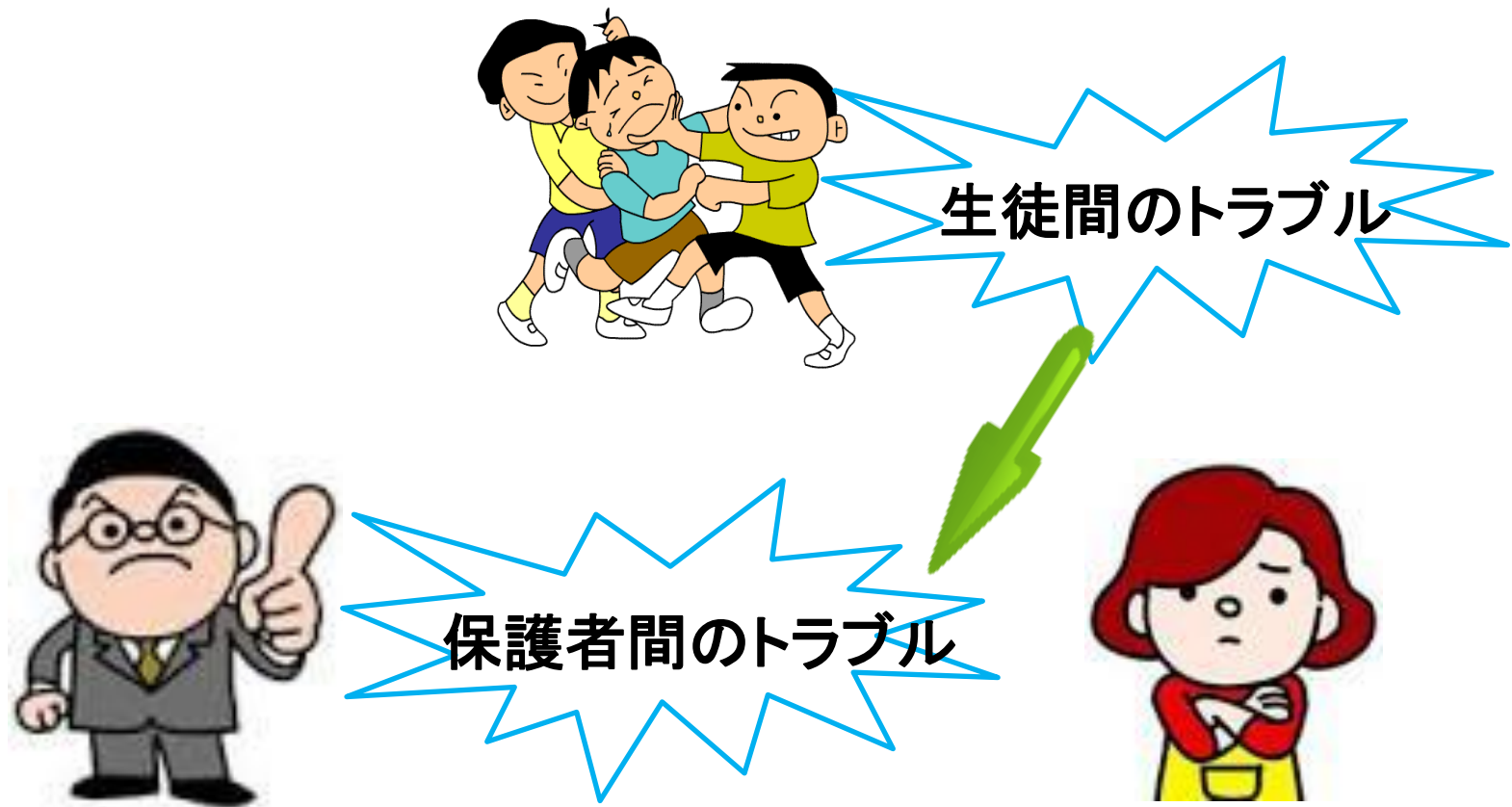
相談

心理検査

専門機関
受診へ

必要に応じて教育相談

③「子育て塾」 その1



特別支援教育への
理解が必要



③「子育て塾」 その2

子育て塾のスタート



地域・学校・家庭が一体
子育てを考える学習会

特別支援学校職員から専門的な話を聞けるいい機会となった

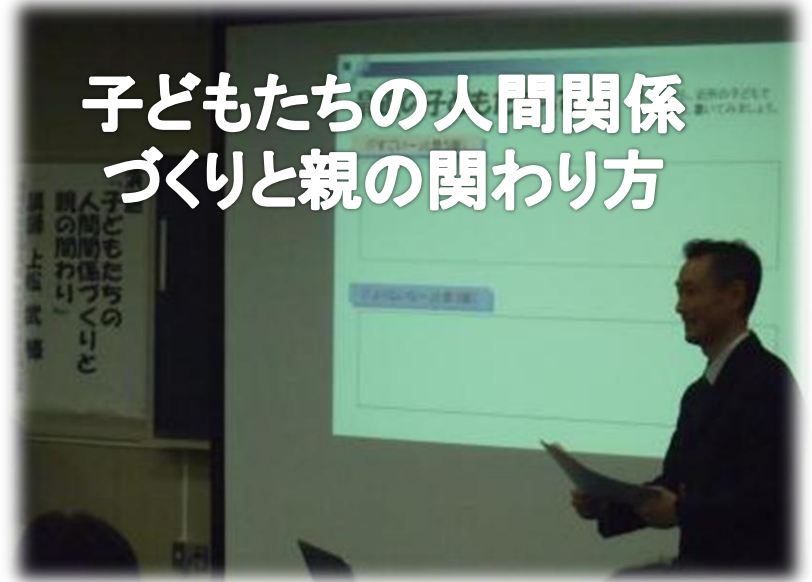


平成24年度第2回

③「子育て塾」 その3

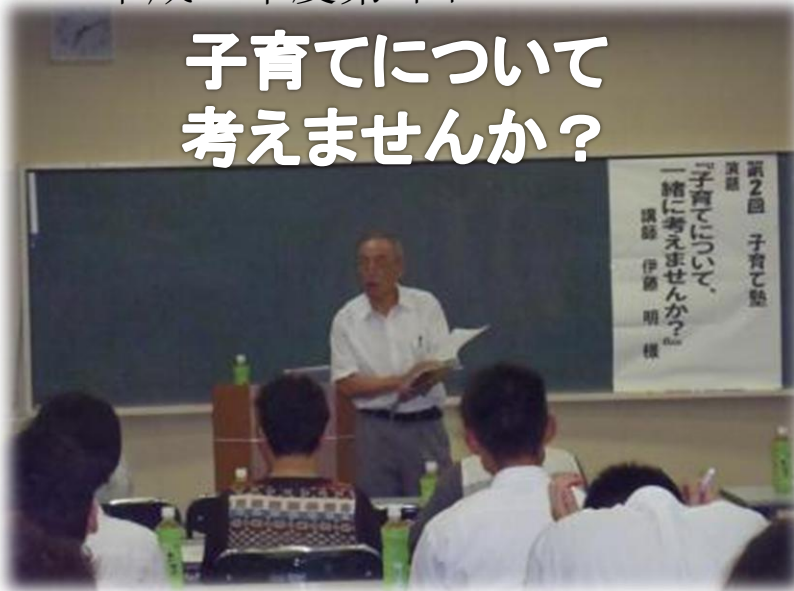
子育て塾の様子

子どもたちの人間関係 づくりと親の関わり方



平成24年度第1回

子育てについて 考えませんか？



平成25年度

心と体の健康トーク



④スクールサポート巡回相談 その1

平成17年 「特別支援教育推進体制モデル事業」

→専門家チームによる小中学校への巡回相談

柏崎市

推進地域指定

市独自で専門家
チームを編成して
巡回相談したい

「就学指導委員会」
「養護学校の地域支援」
「上教大教授を招いての
校内事例検討会」
をわかりやすく整理したい

平成20年 「発達障害者支援・特別支援教育総合推進事業」

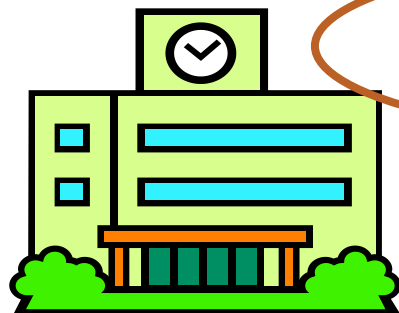
柏崎市

グランドモデル地域指定

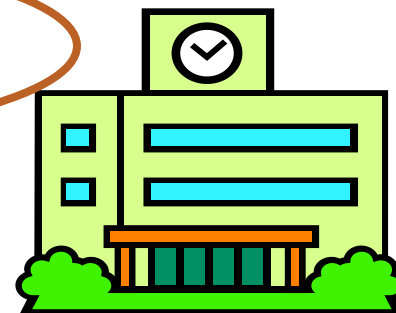


④スクールサポート巡回相談 その2

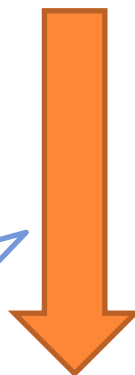
県立柏崎
特別支援学校



県立はまなす
特別支援学校



センター的機能



各学校に
相談員を派遣



④スクールサポート巡回相談 その3

巡回相談の流れ



実態把握票でチェック



校内特別支援対策委員会

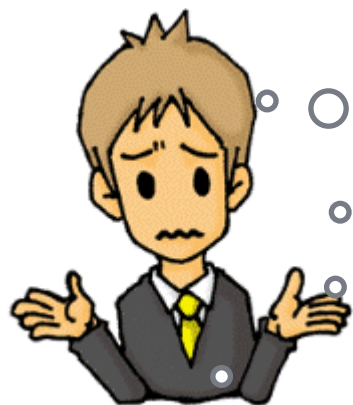


中学校区特別支援部会

- ・巡回相談の開催日時
- ・対象児童、生徒の特性や困り感の整理
- ・授業参観
- ・検討会



⑤校内特別支援対策委員会への 参加と助言



教育課程の
組み方？

個別学習の
指導方法？

ユニバーサル
デザイン？

保護者への
対応？



助言

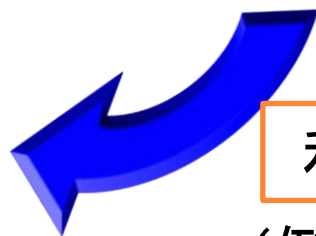


⑥「アドバンス」の活用

県立柏崎特別支援学校では…

- ・生活リズムの改善 ・学習集団づくり
- ・集団参加の仕方の習得 ・人とのかかわり方の習得
- ・自己理解の促進

アドバンス(前進させる)



利用して学校復帰をサポート

(例) 生活リズムの改善

→自己認識、自己開示への援助

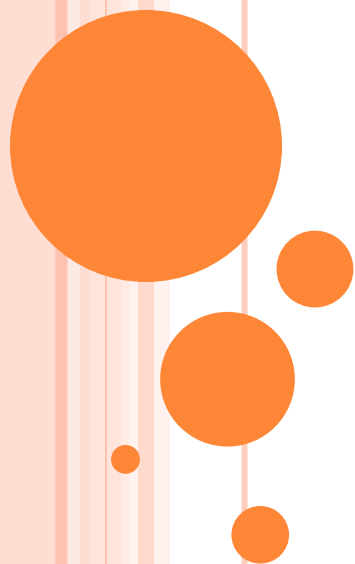
全欠



週2回、1時間登校できるように



IV. 成果と課題



成果①



職員が、個に応じたサポート体制
の必要性を共通認識

教師の
対応の
変化

ユニバーサルデザインの導入
教師の対応で困ることがなくなる
学校が落ち着きはじめる

生徒指導上の問題が減る！



成果②



保護者に、個に応じた指導の
大切さが理解される

特別支援学級への入級者が増え…

知的 1クラス
情緒 1クラス



知的 2クラス
情緒 2クラス

家庭での具体的な支援の
方法が理解される

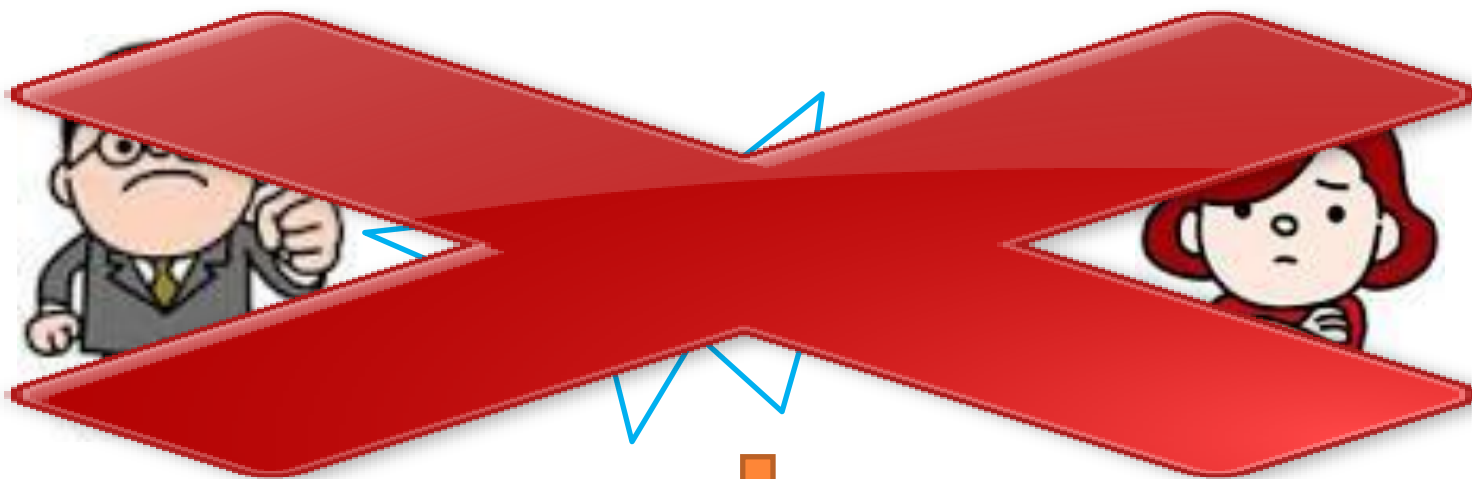


成果③

保護者に、発達障害の理解が深まる



誤解や偏見の解消



保護者間のトラブルの減少



成果④

小学校との連携を大切にするように



中学校での体験入学
小学校に出向いての
特別支援学級の説明



中一ギャップの減少



不登校生徒の減少



成果⑤⑥⑦

特別支援学校の相談員のおかげで…

特別支援学校の高等部への
適切な進路指導

学校のニーズに合った
サポート体制の構築

専門的知識の裏付けで
サポートチームを導くことができた



課題①

時間・日程調整の問題



教師は空いている時間
が限られている…



関わる人が多くなるほど
日程調整が大変に…

連絡がスムーズにいくシステムが必要●

課題②

コーディネーターには様々な能力が必要

- 情報を収集する力
- 問題を明確にする力
- チーム内の役割分担を明確にし、
まとめていく力
- フットワークの軽さ

研修を通して身につけていく



課題③

個別の支援が必要な生徒は年々増加



今年は良くて来年は…？

異動で職員が変わったら…？

「個に応じたサポート」
が継続できるような
確固とした学校体制の確立



ご静聴いただき
ありがとうございました

